

令和7年度 目標設定書（学校教育課）

学校教育課長 岩瀬和也

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校への就学・転入学の手続き、児童生徒の保健衛生等に関すること ・学校の教育課程、学習指導、生徒指導、教職員の人事管理等に関すること ・教育に関する各種調査・統計に関すること 		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
<p>毛呂山町に住んでいる児童生徒とその保護者の方々のために。 また、学校教育にご支援ご協力をいただいている全ての町民の皆さんのために。</p>		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目 標 名	確かな学力と自立する力の育成	
指 標 名	全国学力・学習状況調査における教科ごとの平均正答率（小学生）	
数値目標	初期値（令和5年度）	国語58%（県68%） 算数54%（県62%）
	現状値（令和6年度）	国語60%（県69%） 算数57%（県64%）
	目標値（令和7年度）	令和7年度県数値
	最終目標値（令和11年度）	令和11年度県数値
設定根拠	第六次毛呂山町総合振興計画前期基本計画	
事業概要	各小中学校における指導方法研究等に「全国学力・学習状況調査」を活用し、学習指導における質の向上を図ります。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。		
<p>「全国学力・学習状況調査」は、全国と毛呂山町の児童の学力や学習状況を把握し、児童生徒の1年間の学習成果や学校における学習指導の成果を確認し、授業改善に役立てることができます。毛呂山町学力向上対策委員会において、学力向上に効果のあった取組を分析し共有することで、指導内容の工夫や改善を図ることができます。</p>		
5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。		
<p>全体として、目標値である県平均正答率に達することはできませんでした。国語・算数とも、県平均に迫る学校もあれば、大きく下回る学校もあり、学校間での大きな差が見られました。国語については「読むこと」、算数については「数と計算」、国語・算数ともに自分の考え等を記述することに課題がみられます。また、家庭学習の時間が、全国平均を大きく下回る結果となっています。各学校で効果のあった取組を共有し、町全体の学力が伸びるように取り組む必要があります。また、授業や家庭学習でA Iドリルを活用し、学力の定着を図っていくことが必要です。</p>		
6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。		
<p>学力向上対策委員会では、各学校が明確な目標やその達成に向けた具体的な方策を示し、授業改善を行います。国語では、読書活動の推進とともに文章の読み取り方の授業改善、算数では、計算問題の習熟のための時間の確保等により課題解決を目指します。I C Tも活用し、自分の考えを記述し、児童相互に共有することで、記述する力を向上させます。また、A I学習ドリルを授業や家庭学習で活用し、個々の学習進度や理解度に合った学習に取り組ませ、学力の定着を図ります。小中一貫教育の取組である乗り入れ授業や小中合同研修会等により、研究成果について、町内小中学校で情報共有し、9年間を通した学力向上に取り組めます。</p>		

令和7年度 目標設定書（学校教育課）

学校教育課長 岩瀬和也

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校への就学・転入学の手続き、児童生徒の保健衛生等に関すること ・学校の教育課程、学習指導、生徒指導、教職員の人事管理等に関すること ・教育に関する各種調査・統計に関すること 		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
<p>毛呂山町に住んでいる児童生徒とその保護者の方々のために。 また、学校教育にご支援ご協力をいただいている全ての町民の皆さんのために。</p>		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目 標 名	確かな学力と自立する力の育成	
指 標 名	全国学力・学習状況調査における教科ごとの平均正答率（中学生）	
数値目標	初期値（令和5年度）	国語65%（県71%） 数学41%（県52%）
	現状値（令和6年度）	国語55%（県59%） 数学45%（県53%）
	目標値（令和7年度）	令和7年度県数値
	最終目標値（令和11年度）	令和11年度県数値
設定根拠	第六次毛呂山町総合振興計画前期基本計画	
事業概要	各小中学校における指導方法研究等に「全国学力・学習状況調査」を活用し、学習指導における質の向上を図ります。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。		
<p>「全国学力・学習状況調査」は、全国と毛呂山町の児童の学力や学習状況を把握し、児童生徒の1年間の学習成果や学校における学習指導の成果を確認し、授業改善に役立てることができます。毛呂山町学力向上対策委員会において、学力向上に効果のあった取組を分析し共有することで、指導内容の工夫や改善を図ることができます。</p>		
5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。		
<p>全体として、目標値である全国平均に達することはできませんでした。国語は全校平均との差を少しずつ縮めていますが、数学は大きく下回っています。国語については「読むこと」、数学については「数と式」、国語・数学ともに自分の考え等を記述することに課題がみられます。また、家庭学習の時間が、全国平均を大きく下回る結果となっています。各学校で効果のあった取組を共有し、町全体の学力が伸びるように取り組む必要があります。また、授業や家庭学習でA Iドリルを活用し、学力の定着を図っていくことが必要です。</p>		
6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。		
<p>学力向上対策委員会では、各学校が明確な目標やその達成に向けた具体的な方策を示し、授業改善を行います。国語では、読書活動の推進とともに文章の読み取り方の授業改善、数学では、計算問題の習熟のための時間の確保等により課題解決を目指します。I C Tも活用し、自分の考えを記述し、児童相互に共有することで、記述する力を向上させます。また、A I学習ドリルを授業や家庭学習で活用し、個々の学習進度や理解度に合った学習に取り組ませ、学力の定着を図ります。小中一貫教育の取組である乗り入れ授業や小中合同研修会等により、研究成果について、町内小中学校で情報共有し、9年間を通した学力向上に取り組めます。</p>		